各事業所よりお知らせ

訪問看護ステーションなごみより

平成２６年４月に訪問看護ステーションを立ち上げ、皆様のおかげで無事に２周年を迎えることが出来ました。その間、言葉にすれば言い尽くせない出来事があり、「楽しみ」「苦しみ」「悲しみ」「慈しみ」利用者さんやご家族とのかけがえのない時間を共有することが出来ました。

次年度は「なごみ」としての過渡期でもあると思いますが、その波を上手に乗り越え、「寄り添う時間」を増やしていきたいと思います。（文責　佐藤照美）

なごみ CLUB より

なごみ CLUB（相談支援事業部門）では、県立矢吹病院が行う精神科病院地域移行事業に協力し、相双地域への帰還支援をしています。原発 30 キロ圏内の精神科病院から他地域に転院した方で、現在病状が安定しており、相双地域に帰還を希望する方が対象です。ご本人と面接し、希望を伺いながら退院と帰還に向けて支援を行っています。

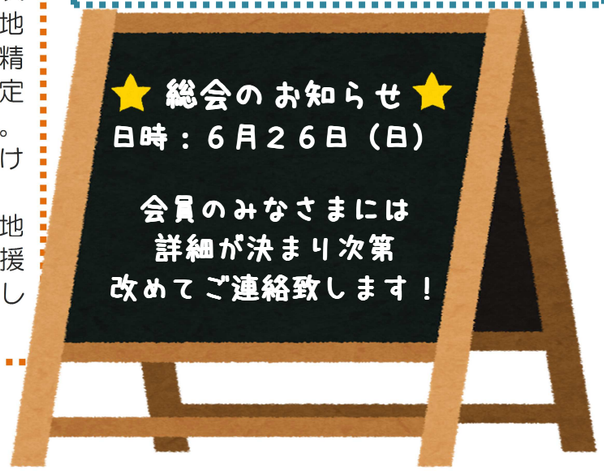
今なお続く住居不足の中で、グループホームなど地域の事業所とも連携をとりながら帰還に向けて支援していきますので、応援のほどよろしくお願いいたします。（文責　大谷）

職員募集中！

私たちと一緒に働きませんか？
ただ今なごみでは、一緒に活躍してくださる職員を大募集しています！
詳細はなごみＨＰをご覧ください

＜申し込み方法＞
お電話またはメールにてお問い合わせください
受付時間　平日９：00～17：00
TEL：0244-26-9753　（担当 米倉）
メールアドレス　nagomi@soso-cocoro.jp

ご質問などもお気軽にお問合せください



相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会　会員大募集！

本会の趣旨に賛同し入会していただく正会員・賛助会員を募集致します

1．正会員　　年会費　一口 10,000 円
2．賛助会員　年会費　　一口 3,000 円

会員になってくださった方には、定期的に会報や現地の情報を送らせていただきます
是非ご検討下さい

【申し込み方法】
正会員または賛助会員・氏名・住所・所属先・職業・電話番号・メールアドレスを明記の上、下記住所に申込書を郵送または FAX してください
以下のホームページアドレスから申し込むこともできます
http://soso-cocoro.jp/

お振込み先　東邦銀行　相馬支店　普通預金
口座番号：1044879
口座名義：特定非営利活動法人　相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会
理事長　大川貴子

郵便振込の場合
口座番号：02260-0-126825
口座名義：特非　相双に新しい精神科医療保健福祉をつくる会
(東邦銀行口座と名義が異なりますので、ご注意下さい)

※新しく会員になっていただく際に、会費納入と併せて、会員申請も忘れずにお申し込みください。会費を支払ったにもかかわらず領収書や会報が届いていない方がおられましたら、なごみまでご連絡ください！

お問い合わせ
〒976-0016　福島県相馬市沖ノ内１丁目 2-8
電話　0244-26-9753
FAX　0244-26-9739
アドレス nagomi@soso-cocoro.jp

NPO 法人　相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会

相双COCOROニュースなごみ

第 12 号　H28 年 3 月吉日
発行元　KCN　ニュースレター　編集部
ホームページ　http;//nagomi.soso-cocoro.jp
Facebook ページ　https://www.fb.me/cocoro.nagomi

地域の声を集めて、シンポジウムで紹介しました。

なごみさんと共にゆっくり歩んでいきます。前に。

子どもたちが伸び伸びと成長していけますように

もう疲れました

地域からのメッセージ（抜粋）

その人らしさを形作った繋がりや通いの場を失いました。触れ愛を感じながら住み慣れた地域づくりを共にしていきたいです。

シンポジウム・研修会

２月１４日　「こころの復興を求めて」
同志社大学の立木茂雄氏と兵庫こころのケアセンターの加藤寛氏に講演いただきました。その後は、被災地からの声として、南相馬市や楢葉町など自治体の立場から、またなごみからは大川理事長と丹羽理事がそれぞれ話題提供し、意見を交わしました。

２月２８日　ここ・から・なごみ「被災地コミュニティにおけるメンタルヘルスケア」
埼玉県立精神医療センター医師の成瀬暢也氏が被災地における依存症問題について講演されたのち、被災地で活動する岩手大槌「心の架け橋」、宮城石巻「からころステーション」福島相馬「なごみ」それぞれが、高齢化をテーマに話題提供し、シンポジウムが行われました。

シンポジウム・研修会を終えて

震災から５年が経過しましたが、時間が経つほどに、復興の地域差・温度差は大きくなるばかりです。依存症問題も高齢化問題も、これからますます深刻化していく問題です。だれもが経験したことのない状況だからこそ、地域と協力しながら、新しいメンタルヘルスの在り方に挑戦していきたいと感じました。（文責　河村・足立）

復興住宅のサロンが始まりました！

仮設住宅を退去される方々の「集まるきっかけがないと集まれない！」という声に応えて相馬市内の復興住宅の集会所でサロンを開催しています。転居後の不安解消、孤立防止にと、人が人を呼び輪が広がっています。（文責　西内）

恵方巻きを作ってペロリ♪

みんなで体操中。中腰はキツイ！

南相馬市原町区にある大町復興住宅では、自治会が主催となって、１月より週４回住宅内の東団地集会所で大町きらきらサロンを開催しています。南相馬市の長寿福祉課、NPO はらまちクラブ、こころのケアセンターなごみも、このサロンのお手伝いしています。（文責　立谷）

小高区のサロンが始まりました！

小高駅近くのフリースペースをお借りして、週１回サロンを始めました。サロンには、県外避難から一時帰宅した方や長期準備宿泊の方も寄ってくださいました。小高区のみなさんと、顔なじみになりたいと思います。（文責　伏見）

ヨガの日もあります！

小高の日常風景

小高の今・・・

先日「避難指示区域の解除に向けた市民説明会」に行ってきました。この会報を書いている今、小高区はいつ解除になるかはまだ決まっていません。街では、除染や家屋解体、復興住宅の建設が急ピッチで行われています。

「人が人を呼ぶ。だから街に人がいる風景をまず作りたい」と話す地元支援者。土地を守り続ける人の言葉と共に、なごみは在り続けたいと思います。（文責　伏見）

なごみの新しいグループ活動

男性の集い

訪問させて頂く多くの男性より「何もすることがない」「つい酒量が増えてしまう」と言う声を聞き、良いアイディアが浮かばないスタッフは『そうだ！ご本人達に聞いてみよう！』と緊急ミーティングを開き事務所に集まって頂いたのが 11 月。それ以降、毎月写真のような笑顔があふれるような楽しい活動をしています。（文責　木島）

長～い海苔巻きが完成！
男性の集い

チャレンジクラブ
焼きそば作り

チャレンジクラブ

若者だって居場所を求めている！ということで始まった月 1 回のグループ活動。20 代～３０代の若者が集まっています。料理をしたりスポーツをしたり、時にはお互いの話を聞き合ったり。一緒にチャレンジする仲間の輪を広げています。（文責　足立）

New York 訪問記：なごみの活動報告と支援の感謝を伝えに行きました！

昨年の４月に Japan Society と米国日本人医師会に福島県内堀知事からの感謝状と感謝の品の「起き上がり小法師」を贈呈し、Japan Society、Mount Sinai 大学、Columbia 大学では、大震災後の福島の状況、被災者のメンタルヘルスの問題等について報告しました。私たちが支援を受けて行ってきたメンタルヘルスサポートのアウトリーチ活動の成果をお知らせし、福島の復興の状況を理解していただくことができた旅でありました。2012 年から３年間にわたり支援を頂いた Japan Society 及び米国日本人医師会の皆様に感謝申し上げます。私たちはこのような善意によって支えられていることを忘れず、新しい精神科医療保健福祉システムを拡大していきます。（文責　丹羽）

米国日本人医師会に感謝状を贈呈

米国医師会のみなさんとの交流会

昨年の９月に New York へ行ってきました。東日本大震災後、当 NPO 法人の前身である福島県立医科大学心のケアチームの時代から支援をして下さった米国日本人医師会の柳澤ロバート貴裕先生が今回の旅のコーディネートをして下さり、Mount Sinai Hospital のスタッフの方々や、世界貿易センタービルの近くに立地する Pace University の看護学部の先生方と交流することができました。米国日本人医師会の皆様とは夕食を共にする機会もつくって頂き、その場で NPO 法人からの感謝状を安西会長にお渡しいたしました。また、Japan Society の櫻井理事長にもお目にかかり、当法人への支援を決断して下さった経緯などをお聞きすることができました。感謝状をお渡しし、今後も私たちの活動を支えて頂けるようお願いをして参りました。（文責　大川）

断酒会のお知らせ

相馬うぐいす断酒会

平成 27 年４月より、例会が始まりました！

毎月第２・第４土曜日午後１時より、こころのケアセンターなごみ相馬事務所にて開催しています。「断酒の誓い」から始まり、それぞれが体験談を語り合う場となっています。断酒会は依存症の方がお酒を断ち続けるための自助グループです。また、ご家族のお酒の問題で困っている方の参加も可能です。事前申し込み不要です。お気軽にご参加ください。

お問い合せ先：相馬事務所　0244-26-9753

相馬うぐいす断酒会も２年目になりました。思えば去年は自分にとっては最悪な年でした。２月 14 日に半身麻痺になってしまって、皆さんが準備に忙しい所、自分は病院のベッドにねたきりで、リハビリに一所懸命がんばっていた頃でした。酒を止めるという事は、一人では止め続けるのは本当に難しいことです。相馬に断酒会が出来た事は、現在の飲んでいる人達には大変よい事になると思います。断酒会は、酒を止めたい人、止めさせたい家族の集まりですので、一度見に来て頂いて決めてください。仲間が居れば、きっと本人も止めて生きていこうと思います。その後は、こころのケアセンターなごみのバックアップをお願いします。

断酒会代表　岩崎方嗣